



## かの日が近づいているのを見るほど



恵みと真理教会 チョヨンモク 牧師

“かの日が近づく来るのを見る。”という表現が本文にあります。ここで言った“かの日”は聖書で“主の日”(コリント人への第一の手紙 5:5)、“イエスキリストの日”(ピリピ人への手紙 1:10)、“人子の日”(ルカによる福音書 17:26)、“神様の日”(ペテロの第二の手紙 3:12)、“震怒の日”(ローマ人への手紙 2:5)、“救贖の日”(エペソ人への手紙 4:30)、“ヨホバの日”(士師記 2:12, ヨエル書 1:5)などで多様に表現されています。イエスキリストが再臨なさる日を意味します。かの日が不信者たちには神様の震怒が臨む日で審判を受ける日になって、信者たちにはイエスキリストの救贖の恵みが身まで及ぶようになって復活する日になります。“かの日”は不可欠に近づいて来るのです。すべての人に不可欠に近づく“かの日”がまたあります。この世を去る死の日がすぐ“かの日”です。ヘブル人への手紙 9章 27節に“そして、一度だけ死ぬことと、死んだ後さばきを受けることとが、人間に定まっているように、”しました。このように自分に不可欠に近づくようになる“かの日”を備えて一日一日をどうやって暮さなければならぬはずなのかを私たちは思わなければなりません。使徒パウロは彼の生涯の晩年に“しかし、あなたは、何事にもつつしみ、苦難をしのび、伝道者のわざをなし、自分の務を全うしなさい。わたしは、すでに自身を犠牲としてささげている。わたしが世を去るべき時はきた。わたしは戦いをりっぱに戦いぬき、走るべき行程を走りつくし、信仰を守りとおした。今や、義の冠がわたしを待っているばかりである。かの日には、公平な審判者である主が、それをささげて下さるであろう。わたしばかりではなく、主の出現を心から待ち望んでいたすべての人にも授けて下さるであろう。”(テモテへの第二の手紙 4:5~8)。私たちも使徒パウロのように言えるように暮さなければなりません。そうするための方法が今日の本文に記録されています。“また、約束をして下さったのは忠実なかたであるから、わたしたちの告白する望みを、動くことなくしっかりと持ち続け、愛と善行とを励むように互に努め、ある人たちがいつもしているように、集会をやめることはしないで互に励まし、かの日が近づいているのを見て、ますます、そうしようではないか。(ヘブル人への手紙、10:23~25)”。本文で三種類の要点をよく見ます。

### 第一、約束したかたは頼もしいから私たちが信じる道理の所望を動かさずに固く取りなさいと言いました。

“私たちが信じる道理”と言うのは私たちの信仰の告白あるいは私たちが告白する信仰を言います。“私たちが信じる道理”を一つ一つすべて列挙しようとする回数と数えきれないほど多いです。その中で非常に核心的なことはイエスキリストの弟子ペテロの信仰告白にあります。ガイサリヤピリピでイエスキリストが弟子たちに聞きました。

“あなたがたは私を誰だと言うのか?” イエスキリストの質問に対してペテロが答えました。“主はキリストであり、生きていらっしゃる神様の御子です。”ペテロの返事は簡単だが完全な信仰告白です。“イエスキリスト”という言葉はヘブライ語ではメシアなのに神様が委任した事のために神様の送ることを受けられた者を示します。神様が罪人を救援するために彼のイエスキリストに任務をくださって時が満ちた時にその任務を遂行するように世の中に送りました。“生きていらっしゃる神様の御子”という言葉にはイエスキリストは神様の父がこの世の中に行かせた永遠な神様の御子なのを意味します。そして唯一の救援者なのを意味します。イエスキリストが親しくおっしゃるのを“神はそのひとり子を賜ったほどに、この世を愛して下さった。それは御子を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである。”(ヨハネによる福音書 3:16)、“イエスは彼に言われた、「わたしは道であり、真理であり、命である。だれでもわたしによらないでは、父のみもとに行くことはできない。」”(ヨハネによる福音書 14:6)しました。

今日の使徒信條はペテロの告白から始まったことで歳月が経ちながら多くの部分がそこに添加されて整えられたのです。

“我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず我はその独り子、我らの主イエスキリストを信ず、主は聖霊によりてやどりおとめマリアより生まれ、ポンデーオピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、よみにくだり三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座したまえり、かしこよりきたりて、生ける者と死ねる者とを審きたまわん、我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会と、聖徒の交わり、罪のゆるし身からだのよみがえり、とこしえの命を信ず アーメン。”使徒信條は私たちが信じる聖書の内容、福音の本質的な真理を簡潔に圧縮した信仰の告白です。世の中には私たちのこのような信仰告白を振るものなどがあります。その中には患難があります。患難による苦痛はイエスキリストに対して私たちの信仰に疑心を抱くようにします。その中には逼迫があります。逼迫による苦痛とさびしさが私たちの信仰を振ります。その中には誘惑があります。世の中の享楽、富貴功名が私たちの心を惑わします。私たちは信仰告白を揺れるようにする世俗的な誘惑をきっぱりと退けなければなりません。世の中の賛辞と名声に魅かれるとか お金に惑わされて信仰告白に行き違った事をしてはいけません。私たちの信仰告白をあきらめるように振る患難と逼迫と誘惑に対して私たちがどんなに対処しなければなりませんか?“約束した方は頼もしいから私たちが信じる道理の所望を動かさずに固く取りなさい”と言いました。私たちの信仰告白には将来かなう所望が内包されています。復活の所望、天国の所望、主の前に立つ日ほめ言葉と賞を受けるようになる所望、このような所望は世の中が与えることができないし奪うことができない所望です。この所望は必ずかえりません。神様はうそをつかないで約束したことを十分にすべて成すことができるからです。私たちは信仰告白に内包された所望のよる期待感と楽しいこと一杯な心を持って信仰告白が揺れないように固くつかまえなければなりません。

### 第二、お互いに振り返って愛と善行を励ましなさいと言いました。

お互いに振り返りなさいと言いました。聖徒は自分だけのためでないで教人たちに対して関心を持って気配りしなければなりません。

私の信仰だけよく維持すれば良いと思わずに信仰の兄弟姉妹たちが信仰生活がお上手になるように助けなければなりません。ガリリ湖はヘルモン山で下がる水を受けてヨダン川で流される死海はヨダン川の水を受けて閉じこめておいています。ガリリ湖には多様な魚が暮して漁夫たちの歌音があるが死海は魚一匹ない死んだ湖です。他人の信仰生活を助けるために力をつくせば自分の信仰は活力があふれるようになります。一方に利己的な態度を取れば自分の信仰はしばまれます。

愛と善行を励ましなさいと言いました。他人をねたみや讒訴することは愚鈍な行為です。こんな事をすれば自分の心霊があらになりません。他人の愛と善行を励ますのに積極的にならなければなりません。他人の愛と善行を励ます事をすれば神様を嬉しくします。そして神様頃からほめ言葉と賞を受けるようになります。

### 第三、集まるのを廃するある人々の習慣のようにしなくてただ勤めて集まるのを力をつくしなさいと言いました。

聖徒たちは教会が決めた日に礼拝を差し上げるために集まるのに力をつくさなければなりません。集まるのをなおざりにすれば初めには気楽ではないです。しかし繰り返すようになれば尋常になって結局習慣で固まります。だから集まるのをなおざりにする人を見たら賢く勤勉しなければなりません。一言の勤勉が怠惰な心霊に刺戟剤になることができます。聖徒たちは教会の集まりに参加することだけでも互いに大きいお手助けになるようになります。

寒い日なのでたきぎを焚く暖炉のそばで対話を交わしていたムーディー牧師様にどんな人が質問しました。“信仰生活をひとりにもよくすることができるのにわざわざ教会に集まらなければならない理由は何ですか?”ムーディー牧師様は何の返事もしないでただ火のやっこをあげて暖炉でかっかっか燃えているすみび一つを取り出しておきました。返事を待っていた人が少し後に初めてムーディー牧師様が自分の質問に対する答を行動になさったことを悟りました。取り出しておいたすみびの熱気がすべて冷えてしまったことを見たのです。暖炉の中にある炭火は相変らず真っ赤にかっかっか燃えている一つを取り出しておくとすぐ冷えてしまいました。

聖徒たちの集まりによく参加することは自分にも教会の共同体に皆有益なのです。神様は聖徒たちの集まりを大事に思われたい約束をくださいました。“また、よく言うておく。もしあなたがたのうちのふたりが、どんな願い事についても地上で心を合わせるなら、天にいますわたしの父はそれをかなえて下さるであろう。ふたりまたは三人が、わたしの名によって集まっている所には、わたしもその中にいるのである。”(マタイによる福音書 18:19,20)しました。歳月は泊まらないで ずっと流れます。私たちがいつ天国から呼ばれるか知れないです。イエスキリストが私たちに連れに世の中にまたいらっしやる かの日がますます近づく来るのです。

聖徒の皆さんは “かの日が 近づく来るのを” いつも思いながら 1) 信じる道理の所望を動かさずに固く取ってください。 2) お互いに振り返って愛と善行を励ましてください。 3) 集まるのを廃するある人々の習慣のようにしなくて集まるのをもっと力をつくしてください。